

目次

最先端の高度な土木技術・建設技術の開発と実用化 特集

3	巻頭言	建設技術の開発と日本のインフラ	嘉納 成男
5	行政情報	公共工事等における新技術活用システム (NETIS) の改訂	林 利行
11	行政情報	新技術活用システム (NETIS) の活用状況	鹿毛 英樹
14	行政情報	土木研究所における最近の研究活動	大住 道生
18	行政情報	最近の建築研究所における研究開発の取組と成果	北田 透
22		二重回転カッター方式による大口径シールドの高速掘進技術の開発	安光 立也
30		ダム再開発工事における上流仮締切工の大幅効率化を実現 浮体式仮締切工法	川元 壊二・滝口 紀夫・宮本 修
35		鉄道建設分野における技術開発と実用化	清水 満
41		自動車走行燃費の改善に向けたアスファルト舗装技術の開発	石垣 勉・川上 篤史・久保 和幸
46		高波から国土を守る新型離岸堤 斜面スリット型透過式ケーソンS-VHS工法	奥田 一弘・土岡 真樹
51		時速50kmでトンネル空洞探査 高速走行型非接触レーダーによるトンネル覆工巻厚・空洞探査を実現:MIMM-R(ミーム-アール)	安田 亨・山本 秀樹・北澤 隆一
57		ビルをぶら下げる「塔頂免震構造」の開発	中村 豊
62		水の凍結膨張圧を利用した「コンクリート構造物破壊技術」	三輪 明広・小椋 浩・植木 和幸
67		災害応急復旧用無線遠隔操縦ロボットの開発 拮抗駆動式ゴム人工筋肉によるパラレルリンク型ロボットの有効性	豊田 晃央
72		荒掘削から整地まで自動アシスト制御するICT油圧ショベル PC200i-10/PC200LCi-10	中川 智裕・新谷 了
77		電動遠隔解体機 DXR シリーズ	坂口 敬一
81	交流の広場	タッチとジェスチャで作業現場を支援するグローブ型ウェアラブルデバイスの開発	境 克司
85	ずいそう	百行は一信に如かず	鶴岡 松生
86	ずいそう	プロの苦しみとアマの楽しみ —技術開発現場における規制と進化—	富田 茂
87	CMI 報告	劣化した透光性遮音壁の機能回復技術	榎園 正義・谷倉 泉
92	部会報告	除雪機械の変遷(その2)ロータリ除雪車(2)	機械部会
100	新工法紹介	機関誌編集委員会	109 統計
101	新機種紹介	機関誌編集委員会	建設工事受注額・建設機械受注額の推移
102	統計	平成26年建設業の業況	機関誌編集委員会
		機関誌編集委員会	110 行事一覧(2014年10月)
			114 編集後記(篠原・相田)
			「建設機械施工」既刊目次一覧

◇表紙写真説明◇

鶴田ダム再開発事業での浮体式仮締切工法

写真提供: 鹿島建設株

既存ダムの機能を強化する再開発事業はダムを運用しながら施工することが多いため、ダム上流面に仮締切を

設置しドライな空間を確保して各種の作業を行う。現在施工中の鶴田ダム再開発事業では、この仮締切に新たに開発した浮体式仮締切工法を採用した。底蓋と一体化した仮締切扉体を浮体化しバラスト調整しながら一括して設置し、浮力は浮上り防止金物で支持する。写真は、設置した仮締切内部をドライにするための排水作業を実施している状況である。